

平成23年度 新規評価実施箇所一覧表（維持系）

1. 農地整備課
2. 河川砂防課
3. 道 路 課
4. 港 湾 課

1. 農地整備課

公共事業新規評価調書(維持系)

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	農地整備課	事業名	県営農業水利施設ストックマネジメント事業
種別	土地改良	事業区分	維持管理		

事業目的	国営及び県営土地改良事業により造成された基幹的な農業水利施設について、施設の機能診断に基づく予防的な機能保全対策工事を実施し、既存施設の有効利用と長寿命化を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策機械を使用する
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	評価視点:位置付け										評価視点:必要性・効果										評価視点:実施環境						評価	判断						
		市町村名	大字等			評価指標:計画の策定状況		評価指標:健全度評価				評価指標:防災効果 (防災効果の高い施設)				点数計	評価指標:費用対効果 (B/C)		評価指標:施設の劣化状況 (施設造成後の経過年数)				評価指標:施設の影響度				評価指標:事業推進状況		評価指標:管理の実施状況					点数計					
						機能保全計画が策定され、対策内容、時期とおおむね計画どおりである。	機能保全計画が策定されていない。若しくは、機能保全計画が策定されているが、対策内容、時期が計画と異なる。	点数		S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	点数		該当あり	該当なし	点数	費用対効果(B/C)が1.0以上	点数	標準耐用年数より10年以上経過している	標準耐用年数を経過している	標準耐用年数の半分を経過している	標準耐用年数の半分を経過していない	点数	受益面積が500ha以上	受益面積が200ha以上	受益面積が200ha未満	点数	関係市町の同意が得られ、受益者の大部分の同意が得られる。若しくは土地改良区の総会又は総代会において事業実施に関する議決が得られている。				点数	毎年、定期的に点検・整備を実施している	数年に1回程度、点検・整備を実施している	異常時に点検・整備を実施している	点検・整備を実施していない
1	白石沿岸	白石町	福富下分他	460	H27	50		50			10		10	20		20	80	50	50		20			20	20			20	90	50	50	50				50	100	A A A	I

2. 河川砂防課

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設修繕費
種別	ダム	事業区分	維持管理（水質保全）		

事業目的	伊岐佐ダムでは、水質悪化に伴う黒色濁りに非常に苦慮しているところであり、特に下流の見帰りの滝は「日本の滝100選」にも選ばれており、滝壺付近においては、水しぶきで衣服が変色するほど深刻である。そのため、貯水池循環装置を設置して水質改善を行うことで、水の安全・安心の確保を図ることを目的とする。
------	--

定性評価	自然環境保全	ダム貯水池内の水質改善装置であるため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	水質の改善が図られるため、濁りの改善や下流での水道水処理施設の処理費用低減が見込まれる。
	コスト縮減策	より経済的な水質改善対策工法を検討し採用する。
	その他	清流をよみがえらせ、観光地の集客増が図られる。

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け						評価視点：必要性・効果						評価視点：実施環境						評価	判断						
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：水質調査（水道水）		評価指標：河川維持流量の補給		評価指標：ダム湖の利用		評価指標：環境基準		評価指標：悪臭の発生		評価指標：アオコの発生		評価指標：濁りの長期化		評価指標：市町村の協力体制		評価指標：地元要望				評価指標：浄水場、魚類への影響		計			
								水質調査（水道水）	小計	河川維持流量の補給	小計	ダム湖の利用	小計	計	環境基準	小計	悪臭の発生	小計	アオコの発生	小計	濁りの長期化	小計	計	市町村の協力体制	小計			地元要望	小計		浄水場への影響	魚類への影響	小計
								(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(80)	(60)	(60)	(20)	(20)	(10)	(10)	(10)	(10)	(100)	(60)	(60)			(20)	(20)		(10)	(10)	(20)
1	伊岐佐ダム	唐津市	相知町伊岐佐	26	26	単独	23	60	60	20	20	0	0	80	30	30	20	20	0	0	10	10	60	60	60	20	20	0	0	0	80	ABA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設修繕費
種別	ダム	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	県管理のダム施設において、老朽化または破損により本来の機能を果たしていない施設や機能が低下している施設等、ダム管理に支障を来す恐れがある施設の修繕・改良・更新を行い、安全・安心の確保を図ることを目的とする。
------	---

定性評価	自然環境保全	既存のダム管理設備老朽化に伴う設備の更新等を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	修繕等により施設の延命化が図られる。排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断		
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		評価指標：点検 診断結果による 判定（対象機 器、施設の重要 度）		評価指標：構造上の課題			評価指標：破損 錆の目視判断		評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定						
								計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計				
																								専門業者による診断点検報告	小計
								(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(20)	(80)	(20)	(20)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)		
1	伊岐佐ダム	唐津市	相知町伊岐佐	14	14	単独	23	60	60	40	40	100	60	20	80	20	20	100	60	60	40	40	100	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	河川砂防課	事業名	ダム施設整備交付金
種別	ダム	事業区分	維持管理（施設）		

事業目的	竜門ダムは、有田川中流部の支川である広瀬川の上流に位置し、洪水調節、水道用水、流水の正常な機能の維持を目的に昭和50年度に完成した。毎年、ダム管理設備は保守点検を行い、動作確認、不良個所の取替等を実施し、設備の維持管理に努めているが、設備の不具合や故障が毎年増大している。このことから、地域住民の安全・安心を確保するには、確実に迅速なダム操作ができるように老朽化した設備の更新・補修・改良、システムの標準化を図る必要がある。このため、ダム施設整備交付金事業を実施することによって、ダム管理の安全性・信頼性の確保、効率化併せてトータル管理コストの縮減を図るものである。
------	---

定性評価	自然環境保全	既存のダム管理設備老朽化に伴う設備の更新等を行うため、自然環境への影響はほとんど無い。
	生活環境対策	修繕等により施設の延命化が図られる。排ガス対策型機械を使用し大気汚染に配慮する。
	コスト縮減策	各種局舎の構造をパネル組立式にする。また、ダムコンピューターの新仕様に沿った、汎用性の機器による更新を行いコスト縮減を図る。
	その他	

注）（ ）内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費		公共単独の別	完成予定年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断		
		市町村名	大字等	総事業費 (百万円)	H23 要望額 (百万円)			評価指標：点検 診断結果による 判定		評価指標：点検 診断結果による 判定（対象機 器、施設の重要 度）		評価指標：構造上の課題			評価指標：破損 錆の目視判断		評価指標：想定 被害区域の状況		評価指標：操作 性による判定						
								専門業者による 診断点検報告	小計	対象機器の重 要度	小計	計	設置年 からの 経過	前回修 繕から の経過	小計	破損箇 所の有 無及び 錆の度 合い	小計	計	土地家 屋等の 保全	小計	操作性			小計	計
1	竜門ダム	有田町	広瀬山	940	170	公共	26	40	40	40	40	80	60	20	80	10	10	90	60	60	20	20	80	AAA	I

3. 道 路 課

4. 港 湾 課

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備費
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	当該港では、有明海特有の潟土による自然埋没量が膨大であるため、利用者から対応を求められており、栈橋周辺の水深確保を図る。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械を使用する。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。（作業船の選定）
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果					評価視点：実施環境					評価	判断		
		市町村名	大字等			評価指標：危険度判定（施設の現況）		計	評価指標：構造上の課題		評価指標：利用度の頻度		評価指標：利用への支障度		評価指標：地元関係者・利用者の協力要請		評価指標：代替施設の有無		計					
						目視による破損個所の有無及び、錆の割合、土砂の堆積状況	小計		施設の機能	小計	港湾の施設の技術上の基準等との適合	小計	当該施設利用の実績	小計	損個所が多く利用に与える支障度割合	小計	地元関係者・利用者の協力・要望	小計		施設の代替施設が有るのか			小計	
						(60)	(60)		(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)		(20)			(20)	(20)
7	諸富港（石塚地区）2号栈橋	佐賀市	諸富町	19	H23	60	60	30	30	90	60	60	40	40	100	60	60	20	20	20	20	100	AAA	I